

習志野市立谷津小学校施設見学 質疑応答

回答者

- ・習志野市立谷津小学校 井上校長、奥村教頭
- ・習志野市教育委員会教育総務課 西郡主幹、下村主査

Q. オープンスペース型における音の問題に対しての施設整備、カリキュラムや行事を工夫することによる音への対応方法について

A.

- 教室の間に可動式の間仕切り扉を設けている。
- カリキュラム等の工夫による音への対応については、特にしていない。

Q. オープンスペースの特性を生かした特徴的な活用方法について

A.

- 廊下部分を使用し書初めを行ったり、校舎全体のスペースを使用し密にならないよう全児童による合唱を行った。

Q. 仕切りのある教室と比較した際の光熱費の増加に対する対策等について

A.

- 間仕切り扉を設けているが、感染症対策のための換気を最優先にしており、基本的に開けたままにしているため、光熱費の増加は避けられない状況となっている。

Q. 他の配列のオープンスペース型の検討の有無について

A.

- 敷地面積に限りがあり、広いスペースを必要とする配置の検討は困難であった。

Q. 可動間仕切りの使用頻度について

A.

- 感染症対策のため、ほとんどを開けたままにしており使用していない。  
ただし、教室によってはフルオープンにしていたり、真ん中に寄せ掲示物の展示をしたりしていた。

Q. 災害時の避難所機能としての特徴について

A.

- 校庭に防災用倉庫を設置、発電機を常備、学童保育付近の屋外にマンホールトイレ3個を設置している。

Q. 屋上にプールを設置したことによるメリットとデメリットについて

A.

- メリットは、建築スペースを取らないこと、ゴミや葉などが飛んで来ないためプールが汚れにくいこと。
- デメリットは、プール下階の強度を増す必要が生じるために工事費が増加すること。

Q. 当初に想定していなかった、完成後に発生した課題の有無について

A.

- 谷津小学校に限ったことではないと思うが、雨天時に廊下の湿度が高くなり結露が発生する。
- プールに日陰がないことによる、児童の健康面の心配がある。